

PICK UP
THE PERSON

(株) Ayurveda ああゆし

KEY WORD

利他

— rita —



取締役

倉本 伸一郎



代表取締役

北城 多美子

現職のケアマネジャーとして医療・介護に強い想いを持って関わっている倉本取締役。
その背景には、幼いころ可愛がってくれた祖父や祖母が早く亡くなったために恩返しできず、
「人に何か役立つことをしていきたい」と考えた経緯があったという。
一方、北城社長も看護師として人々の死を目の当たりにする中で、
「皆が自分のしたいことをして人生を全うするための手伝いができたら」という想いを持っていた。
そんな二人は出会うやたちまち意気投合。一気に事業についての話へと及んだそうだ。
「人々の幸せに寄与していく」——それは二人が仕事を行う上での大事な合言葉なのである。

「人々がより良い人生を送るための
手助けを行っていききたいのです」

インド伝統のアーユルヴェーダを 一人ひとりにカスタマイズして提案する

世界最古の伝統医学とも言われるインドの「アーユルヴェーダ」。その概念には病気の治療と予防、さらにより良い人生を送るための生活の知恵や哲学も含まれるという。そんな奥深いアーユルヴェーダを日本のお客様に合う形で提案するのが、『Ayurveda ああゆし』だ。本日は布川敏和氏が同社を訪問し、北城社長と倉本取締役のお二人にお話を伺った。

——こちらでは、インドの健康法であるアーユルヴェーダの考えのもと、マッサージやヨガなどを行っておられると伺いました。お二人はどのようにしてこの道に？

（北）私はこの仕事に就く以前は、看護師、次いで高齢者の方々と携わる仕事をしていました。それらの仕事の中でもかしく感じていたのが「人は生きる上で様々な不条理があり、多くの場合、自分のしたいことをできないままに亡くなってしまふ」ということ。そのもどかしさをどうにかして解決する方法を模索するうち、「自然に生きる」というインド哲学に基づくアーユルヴェーダに行き着いたのです。そして本場の南インドでアーユルヴェーダの修業をし、その根幹となる精神的な要素についても勉強しました。日本で言えば「氣功」「養生」「漢

で精神を安定させてしなやかで健康な身体を作るためのお手伝いをしたりといったことですね。

（倉）私は「心」をサポートする方面を受け持っています。ほとんどの方が抱えている生活への不安も結局は「心」に行き着くと思うんです。ケアマネージャー視点となりますが、自宅で最期を迎えたいというご要望は6割ほどで、実際にご自宅で看取られる方は2割程度です。その中で、私が利用者様から学んだことがあります。それは、「望むことが叶えられると、人が持っている命の底力が輝きはじめる」ということ。

このケースでは、長年働いた自分の城でもあり想い出のたくさん詰まった場所でお過ごしになりたいとのご希望があり、店舗を改装し、そこで人生の最終段階をお過ごしになられた方がいらっしゃいました。医療機関で過ごされていた時には一度も笑わなかった方ですが、お戻りになられてからは、点滴での栄養摂取でしたが、自らスプーンでおかゆを召し上がったたり、酸素チューブを外して家族とカフェオレやパンを召し上がったりしていました。さらに、起きられないはずなのに家族に介助されてトイレにまで行かれています。家族や親しい人たちに囲まれて笑顔と「ありがとう」という言葉が最後まで絶えなかったと伺いました。なぜそこまで回復したのか。これは、家族や場所に対する強い気持ちから引き出したのだと考えています。私は、「心」の声を聴き、マネジメントを通じて物理的なサポートで、笑顔へ繋がっていくことに強いやり甲斐と信念を持って仕事に臨んでいます。

——なるほど！ 食生活の改善やマッサージ

方」のようなものですね。そして技術を身に付けた後、当社を立ち上げました。

（倉）私は元々ケアマネージャーをしており、勉強会に参加した時に当時看護師をしていた北城と知り合ったのです。私は幼いころ祖父や祖母に大変可愛がってもらっていたのですが、孝行する前に二人が亡くなったことから、高齢者の方々ははじめ、様々な人々に役立ちたい、という強い気持ちを抱いていました。そんな私にとって、「人に対して何か良いことを」という価値観を持つ北城とは波長があったのです。そのような経緯でこのお仕事をさせていただくことになりました。

——まさに意気投合だったんですね。それに、北城社長がかなり深いところまで学ばれたことに驚きました。

（北）日本ではアーユルヴェーダというと、マッサージやヨガのイメージが強いと思いますが、ですが、それらはあくまでアーユルヴェーダの一部。そこで当社は「生きることにスポットを当て、お客様の希望を伺った上で、充実した人生を送ることができるよう身体と心の両方にアプローチする提案をさせていただいているんですよ。たとえば食材スパイスの販売や調理方法の提案。薬に頼らないで美味しくデトックスする方法をお教えしたり、ヨガや瞑想

ジ、ヨガから心を整えるための手伝いまで、あらゆるアプローチで人々の健康に寄与されているのですね。今後はどのような展望を考えておられますか。

（倉）ヨガやアーユルヴェーダ、気といった事柄は私にとってはまだまだ未知の部分が多いことから、北城のもとでより深く学んでいきたいですね。その一方でやはり、「心」の部分は私が大切にしたいことの一つ。現代人はストレスを抱え、心のエネルギーを使いながら仕事や家庭を構築していると思います。そして現状は心のエネルギーを補充できないまま仕事に出たり、ストレスに晒されるのが実情です。そうした方々をしっかりサポートするために、精進を重ねていきたいと思っています。アーユルヴェーダは幅広い年齢を想定していることから専門的視点において、「死」を肯定的に受け止められるお手伝いをするなど、あらゆる悩み解決に向けてのナビゲーターに、と考えています。

（北）現在当社はお客様のご家庭に訪問してサービスを提供させていただくスタンズなのですが、ご自宅となると、どうしても日常生活の「不条理」や「とらわれ」から切り離せないところもあると思います。ですから今後は伊豆の「Ayurveda リトリート ああゆし」に「来店いただき、そこでじっくりと「心」と「体」のケアを行っていききたいと考えています。また農家さんと連携し、地元の野菜をお客様に提供させていただくことで地域の皆様とのつながりを広げつつ、地産地消において地域に貢献する活動も考えています。そのような取り組みが地域全体につながるような活動へと広がっていくことができれば嬉しいですね。

「インドに直接出向いてアーユルヴェーダの修業をされたという北城社長。その他にもチャクラ・クリーニングやエステなどを勉強し、身体のメンテナンスをするための技術を会得されたそうです。『勉強をしないと人に何かをしてあげたくてもできませんからね』と社長。その意欲と高い意識に感服しました。これからもその技術と意欲で多くの人々を癒やして行って下さい！」

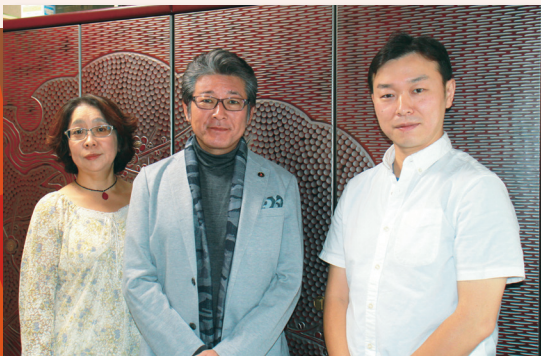
布川 敏和（タレント）



個々のスタイルに合った「幸せ」を提案していく

▼「アーユルヴェーダ」の考え方の根幹として、植物が持つ自然エネルギーを生かし、人間が持つ自然治癒力を最大限に引き出すことと、美と健康の妨げとなるトラブルを内側から改善し、心と体のバランスを整えることが挙げられるという。ちなみにヒンズー教に起源を発していることから、アーユルヴェーダは肉・魚・卵を使用しないベジタリアン食。薬効のあるインドハーブや豆を使った料理で身体を温めたり利尿を促したりし、身体を良い状態にコントロールしていくそう。

▼もっとも、こうした食べ物の禁忌をはじめとしたインド式のやり方を厳格に適用しようとする、ストレスになったり生活スタイルに合わなくなったりする。そこで北城社長は、食べ物であれば仏教の薬膳や精進料理の考えを取り入れるなど、日本式の提案に努めている。「お一人おひとりに合った方法をカスタマイズして、皆さんが楽しく生きるための提案をしていきたいですね」。こうした同社の方針は、多くの人々を惹き付けるだろう。そしてたくさんの健康と幸福に寄与していくに違いない。



株式会社
Ayurveda ああゆし
東京都荒川区荒川 8-20-5-307

Ayurveda リトリート ああゆし
静岡県伊東市八幡野 1231-55
TEL：0557-27-1519
(予約・お問い合わせ)
URL：https://ayushi.jp



代表取締役
北城 多美子



介護支援専門員
マッサージ指圧師
介護福祉士
認知症ケア指導管理士

取締役
倉本 伸一郎